

わいわい春まつり～アミーゴ♡Tomodachi～ 開催！！

4月25日（日）、鈴鹿ハンターで国際交流フェスタ 2010「わいわい春まつり～アミーゴ♡Tomodachi～」を開催しました。天候にも恵まれ、当日は2000人を越えるお客様で会場は大賑わいでした。

各国の音楽・ダンスでステージは盛り上がり、国際屋台村では10カ国の味を食し、外国や日本の文化体験やクラフト作りをしたり、フリマで買い物をしたりしながら、まるごと一日楽しんでいただきました。

このおまつりの運営にたずさわったのは、約16カ国の仲間達385名！

中でも、ボランティアさん達は、8回に渡る実行委員会の会議への出席や前日の準備なども含め、朝早くから最後の片付けに至るまで、しっかりお手伝いいただき大きな助けとなりました。

この場を借りて、スタッフ一同深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

以下は当日の会場の様子です。わいわい！と外国人・日本人が共に楽しみました。ご覧下さい。

センターコート

【オープニングセレモニー】

ペルーの演奏グループ「マヨ」の軽快な音楽演奏の後、10:00～川岸光男鈴鹿市長、原田勝二市議会副議長、リース メンティビル カナレス 在名古屋ペルー共和国総領事館大使をお招きし、式典からスタートしました。



式典では、協会設立以降約20年に渡り、国際交流活動・多文化共生活動に長く貢献された個人や団体に、鈴鹿国際交流協会理事長 平井憲章より、感謝状を手渡しました。感謝状を贈呈したのは、個人で9名、団体は8団体ありました。

このようなボランティアのみなさんの活動があってこそ、多文化共生のまちづくりが出来ます。

ボランティアのみなさんに感謝申し上げると共に、今後も引き続き活動していただけることを期待いたします。

【パフォーマンス披露～センターコートステージ～】

<中国アコーディオン>



西口フォンさんが、ピアノキータイフとボタンキータイフの2種類のアコーディオンを演奏して下さいました。春の歌、剣の舞など全4曲披露されました。衣装も色鮮やかできれいでした。

<コリアン舞踊>



民族舞踊クラブ「シアリ」が、千マチョゴリのチキファッションショーと民族舞踊チャンゴの舞いを披露してくれました。

色とりどりの衣装で、可憐に舞う姿は、とても美しく、ため息が漏れる程でした。出演者全員、民族学校出身のメンバーで、週に2回集まって、大好きな舞踊を学生時代から続けているそうです。

<小林豊子きもの学院 きものショー>



次世代に伝えたい日本の心を、着物の着付けショーを通してみなさんに見ていただきました。
帯を締めていく様子、そして現代の花嫁のオーガンシーの打ちかけ姿など、あでやかに披露されました。
小林豊子きもの学院さんは、昨年夏も、在住外国人の方々のために催した、浴衣の着付け講座やマナー講座などで大変お世話になりました。
外国人のみなさんだけでなく、日本の若い人達にも興味深いショーでした。

<中国武術太極拳>



中国武術を基にした武術太極拳を鈴鹿市太極拳協会のみなさんに披露していただきました。
太極拳といえば、足・腰を鍛えながらできる有酸素運動として注目を浴び、今や若者から中高年に至るまで、広く発展してきています。
ストレス解消、運動不足解消、ダイエット!?
鈴鹿市の公民館や他の施設で市民対象に講座を開き、楽しく活動されているそうですので、興味がある方は協会まで、お問合せ下さい。

<ペルーダンス～マリネーラ&フェステホ～>



<マリネーラ>

5歳からマリネーラを初め、初のコンクールから優勝してきたという、^{カザ}鹿毛明子さんがマリネーラ・ノルテーニャを踊ってくれました。
ペルー国民舞踊とよばれるマリネーラ。
地方ごとに独自のマリネーラがあるそうです。
マリネーラ・ノルテーニャ(北部地方のマリネーラで速いリズム)、
マリネーラ・リメーニャ(リマのマリネーラでリズムはゆっくりでサロン向け)、
そしてマリネーラ・セラーナ(山岳地方のマリネーラ)。
ハンカチを右手に持ち、男女の恋の駆け引きを踊りで表現します。
ノルテーニャは素足で踊ります。
マリネーラはギター・カホンの伴奏と歌により演奏されるだけでなく、
踊りの伴奏の時は、フラスバンドによっても演奏されます。

<フェステホ>

同じく鹿毛明子さんが、アフロペルーのフェステホというダンスを踊ってくれました。
フェステホは単純な動きから成り立つ、アフリカを原点とする踊りです。
アフロペルーナという、民族衣装をまどって踊ります。

先祖である黒人の踊りを民謡とするペルーのチャンチャという町で生まれたこの踊りは、フェステホ、ランド、サパテオ、パナリビオ、コントラフントなどです。

使われている楽器は、カホン、マラカス、ゲイロ、そしてロバのあごです。
この音楽は河岸沿いの音楽としてとてもよく知られているそうです。



サブコート

ハンターのサブコートでは日本の文化体験がたくさんできました！！

<生け花コーナー>



竹やぶから切ってきた竹をカットして花瓶をつくりました。今回は、昨年よりもひとまわり大きな作品となりました。家城先生をはじめ、たくさんのボランティアさんが、花を生ける補助をしてくださり、外国人のみなさんも全体のバランスをみながら花を生けていました。



<日本文化クラフトコーナー～こいのほり&卓月飾り～>



ハンターのサブコートでは、日本文化体験がたくさん出来ました。5月のこどもの日が近いということもあって、卓月飾りやこいのほりをつくってみよう！というコーナーを設けました。大人の方は、卓月飾りを、小さなこども達はこいのほりをそれぞれ作り、作った作品は大切に持って帰って、家に飾っていただきました。外国のお客様には、日本の文化を少しでも理解していただけるように、ポルトガル語・スペイン語・英語でそれぞれ、こいのほりや卓月飾りの説明をしたものを用意しました。このコーナーも、外国人ボランティアさんを含め、たくさんのボランティアさんがご協力下さり、作り方の補助をしていただきました。けっこう時間をかけて、じっくりと作っている様子で、クラフトコーナーはいつ見ても大盛況でした！

<民族衣装&きもの着付け体験>



民族衣装&きもの着付け体験コーナーでは、1階のサブコートで、自分の着たい衣装を選んでいただき、3階の更衣室までボランティアさんの案内で移動。そこで着替えてから、しばらくの間、その衣装でお散歩する、という形をとりました。民族衣装は、鈴鹿国際交流協会が持っている衣装と合わせ、鈴鹿国際大学さんからも衣装をお借りました。着物も、振袖はマリエさん、小紋、付け下げなどは小林豊子さんの学院さん、浴衣はIFCさんからお借りました。案内するボランティアさんたちも、各国の衣装を身にまとい、会場のあちこちで民族衣装や着物を着た人たちが見え、国際色豊かな雰囲気でお洒落な会場を彩りました。

衣装といえば、屋外の屋台村でも、それぞれの国の衣装を着て、自国の料理をPRする方がたくさんみえました。とても賑やかでよかったですね！



屋外コート

【国際屋台村】



10カ国の食物屋台と3カ国の物産ブースが出ました。保健所への申請手続上、メニューの変更を余技なくされたり、許可施設で調理しなければならなかったりと、開催にこぎつけるまで、大変な苦勞がありました。どの国のブースも無事オープンすることができました。初めてのことで、どれ位の数を準備すればよいか…各ブース控えめに予想してスタートしましたが、ふたを開けてみれば、お客様がいっぱいで、早い時間に売り切れになる屋台もたくさんありました。「こんなことなら、もっとたくさん用意しておけばよかった！来年こそは！」と早くも意気込んでいるブースもたくさんあり、嬉しい悲鳴が多く聞かれました。



ブラジル屋台: シュハスコ・パステウが大人気！！



日本屋台: たこ焼き
四日市大学の学生が留学生と共に
出店。売り上げは大地震に見舞われた
中国青海省に寄付するということでした。



韓国屋台: 千千ミ&韓国惣菜
このコーナーのお弁当は人気で、
あっと言う間になくなってしまいました。



フィリピン屋台: アドボ&フィリピン風ヤキソバ
千キんが美味しそ〜う！！



マレーシア屋台: マレーカレー
鈴鹿高専のメンバーが頑張りました！！



中国屋台: ごま団子
このコーナーも大人気でした。



日本屋台: やきそば
牧田の多文化共生委員会
のみなさんが総出でガンバッテ
くれました。



インドネシア屋台
←このスープ
とっても美味しかったです！



←↑**ベル屋台:** アンティーク
チョコ&アルパカ製品・
雑貨。マヨのメンバー。



←↑**ベトナム屋台:**
バインセオ(ベトナム風お好み焼き)
ハンちゃん、ガンちゃん姉妹。



ネパール屋台:
レストラン、ジェイ・
ドゥルガ・パレイスの
カレー&タンドリー
チキン



←**タランガフレンドシップ屋台:** スリランカの雑貨や紅茶などを販売しました。

ナイジェリア屋台→:
ナイジェリアのアクセサリ
などを販売しました。



【こども体験ブース】

<SEF アメフト体験&イースターエッグ作りコーナー>



鈴鹿市教育委員会のアメリカ・オハイオ州から来たSEFのみなさんも、ブースを出しました。アメリカではイースターが近いので、イースターエッグ作りとアメフト体験ができるコーナーをつきました。アメフトの的は、SEFメンバーの手作りです。イースターエッグ作りも子ども達に大人気でした！！

<ホンダ技研工業 Asimo & F1 ダンボールクラフトコーナー>



このコーナーは、常に子ども達で満員でした。接着剤とクリップだけで、再生ダンボールがホンダの2足歩行ロボットAsimoくんやF1マシンに変身するんですネ！スゴイ！！子ども達の笑顔が輝きました！！

<パステルアートコーナー>



ゆるりさん、ふわりさんによるパステルアートのコーナー。なかなか芸術的な作品が出来上がっていましたよ！！色がパステルなので、とってもきれいでステキです。



<竹馬づくり&水鉄砲 コーナー>



牧田地区の多文化共生委員会のみなさんが、竹馬づくりや水鉄砲遊びのコーナーを作ってくれました。外国の子ども達が、竹馬を作るところを珍しそうにじっと見つめていました。竹馬ができると日本の子ども達と一緒に、夢中で竹馬に乗る練習をしていました。水鉄砲も楽しくて大人気！もっとたくさん用意してこれば良かったと、こちら嬉しい悲鳴が聞こえました。

<フェアトレード コーナー> <鈴鹿国際大学 WAI コーナー> <三重県国際室コーナー>



いつも協会イベントをする度に出展して下さる石井かさんです。コーヒーの売り上げは協会名でユニセフに寄付して下さっています。ありがとうございます。



鈴鹿国際大学からは、日本人の学生さんと共に、フラジルやモンゴル・スリランカの留学生さんらが参加してくれました。国当てゲームなどにも参加して、SEFメンバーとも仲良しになり、楽しく過ごしたそうです。



県の国際室からもブースを出展していただきました。多文化共生に関する情報提供をしていただきました。

<コチラちゃんのグリーティング>



忙しい中、コチラちゃんが応援に駆けつけてくれました。子どもたちもスタッフも嬉しくて笑顔になりますネ！！鈴鹿サーキットさん、ありがとうございました。

<ベルティちゃんのグリーティング>



鈴鹿市からはベルティちゃんも応援に来てくれました。やっぱり子どもたちは大喜び！！

<フリーマーケット>

外国人ブース7、日本人ブース10の合計17ブースが出展しました。「指輪が飛び売れた！！」などと、ここでも嬉しい悲鳴が聞こえました。スペースの問題から、今回出展をお断りした人もいたので、次回は是非みなさんに出展してもらえよう、ガンバリマス！！



屋外ステージ

屋外ステージでは、各国のバンド演奏が次々と披露されました。
バンドメンバーもお客さんもハッピーで、一日中賑やかにわいわいと楽しみました！

<フィリピンバンド THE SUN>



タガログ語、英語、ポルトガル語、スペイン語、ルーマニア語、日本語と6ヶ国語で歌を披露。
初めから、一気にテンションがあがりましたネ。

<ペルーバンド MAYO>



マヨは、センターコートのオープニングでも演奏してくれ、その後屋外ステージに移っての演奏で大活躍でした。
かなり場慣れしてきて、演奏のクオリティも上がってきた様な気がします。市内に同じ名前のレストランを経営しています。
美味しいですので、是非行ってみてください。

<ヒップホップ>



←ブラジル人のパトリシアとペルー人のアキコによる、ヒップホップ。土・日に趣味で踊ったり、練習したいしているそうです。かっこよかったです！！

→ジェシカ&ヒテ、キミコ&パトリック夫婦2組でやっているバンド。とてもパワフルで、元気がもらえる演奏でした。会場がどんどん盛り上がっていきました。

<アメリカバンド マスケイ>



<ナイジェリアジャンベチーム>



ナイジェリアから約7年前に日本に来て、県内・県外の国際交流イベントや、地域・学校などでジャンベのプレーを披露しています。今回は、ジャンベのレッスンをしているうちの一人の生徒も含めて、ナイジェリアリズムでプレーします。

<尺八・パーカッション&ラップのコラボレーション演奏>



国内外で活躍中の新田みかんさんの尺八と、フラジル出身のゼツカのパーカッションにミリのラップが加わり、夢のコラボが実現。そこに、ファシリテーターのIZUMIさんが入って、会場全体を盛り上げました。尺八とラッパーの競演は、不思議な雰囲気をかもし出していて、外国人のみなさんの耳にどのように届いているのかなあ〜と興味が湧きました。とても面白い試みで、楽しかったです。

<大木神社太鼓連による和太鼓>



東海道石薬師大木神社太鼓連のみなさん総勢17名(大人11名・子ども6名)が壮大に太鼓の演舞を披露してくれました。お腹に響く太鼓の音はとても力強く、私達の胸にも響きました。会場で見ているお客さんも参加して、一緒に演奏をしていました。楽しそうでしたネ！石薬師町は東海道五十三次の44番目の宿場町でした。この町で太鼓連設立後10年。地元の大木神社を根城に、元気いっぱい活動していらっしゃいます。連員を募集しているそうですので、興味のある方は是非どうぞ！！

<国当てゲーム>

わいわい春まつりに色々な形で参加してくれたみなさんのそれぞれの出身地を当てるゲームをしました。こんなにたくさんの国の方が鈴鹿には住んでいるんですね！！最初はその国で有名なものなどヒントをいくつかもらって、出身国を想像したり、国旗を見て当てたり、中には顔を見ただけで「はい！！」と手をあげることも達かいて、会場はとても盛り上がりました。見事、当たったお客様には、AGF様よりいただきましたコーヒー豆をプレゼントさせていただきました。さて、みなさん、どこの国の方でしょう？一緒に考えてみてください。



答：上段左から～ベトナム、モンゴル、マレーシア、フラジル、チリ、ナイジェリア、ボリビア、ペルー、アメリカ、日本、フィリピン、ウガンダ

<大ファイナル サンバ!!>

最後は恒例の大サンバ大会!!
ファイナルを飾ってくれたサンバチームは、青山里会(社会福祉法人)で介護職を勤める方々、鈴鹿社会福祉協議会の出来立てホヤホヤの「鈴とも」の方々、そしてブラジルと日本の絆を深めようと結成して今年で9年目を迎える「UBJ」(ユニオン・ブラジル・ジャポン)の総勢40名からなるメンバーでした。
ステージにいっぱい広がり、所狭しと踊って、会場はすごい人!
一般のお客様も踊りに加わり、一緒に盛り上がりました。
会場を見渡すと、日本人も様々な国の人達も一緒になって、リズムをとり、体をゆらし、笑顔がいっぱい溢れていました。
多文化共生を目指して、みんなで力を合わせて行ったこのわいわい春まつり。サフタイトルの「アミーゴTomodachi」の文字通り、みんな友達になれた一日でした。
たくさんのご来場ありがとうございました。また、スタッフの皆様、お疲れ様でした。



そして最後に・・・



今回、会場をお借りしたハンターさんに、スタッフ一同、深く感謝申し上げます。
備品の準備も大変協力的にいただき、ハンターさんでなければこのようなイベントの実施は不可能だったと思います。
機会があれば、みなさんもハンターで買い物して下さいネ!